

令和2年度第2回名張市地域公共交通会議にかかる書面審議の結果について

令和2年度第2回名張市地域公共交通会議は書面での開催とし、令和3年2月22日締切にて回答書等のご提出をいただきました。書面審議の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1. 書面審議結果

○回答数

委員数23名、回答数23名

協議案件	承認 / 非承認	承認	非承認	無回答
令和2年度上期の取組及び今後の取組について	承認	23	0	0

○結果

承認

2. 意見等

別紙のとおり

令和3年3月24日
名張市地域公共交通会議
会長 森上 浩伸

(資料1)

②桔梗が丘駅の待合環境の改善が検討事項に挙がっていますが、現在の検討状況はどのようなようか。

【事務局回答】

地方創生臨時交付金を活用して整備することを検討していましたが、庁内での協議により、この度は見送ることとなりました。引き続き様々な方法を検討し、待合環境の改善に努めてまいります。

(資料3)

① コミュニティバスを利用した時に感じたことです。

高齢利用者の中で杖などを使用され、乗降補助が必要だと思われる方が多かったです。そこで、資料の中で「運転手教育の実施」の項目の中に「足腰の弱った人の補助」も加えていただきたいです。理想は市民がお互いに助け合うことだと思いますので、市民に対してもポスターなど啓発もいいのではないのでしょうか。

② 各地域コミバスで仮に「バス委員」などをボランティアでお願いする。住民はその人に利用方法や自分の生活スタイルに合った「マイ時刻表」作成などのアドバイスを受ける。

③ コロナ収束後には、市長、議員、職員の人たちに「エコ通勤の実施」を月に1度からでも実行していただきたいです。公共交通の利便性向上と低炭素社会の実現のためにも。

④ 「市内の観光地を公共交通で巡るツアーの開催」の再開願います。以前に参加した経験があり、たいへん楽しかったです。今年に素晴らしい「路線図」を作成していただき、友人たちとますます楽しみにしております。ボランティアガイドさんの同乗もよかったです。

【事務局回答】

① バスの運転手は、基本的に定時制の確保や交通安全の面などから、運転席を離れることが難しい面がありますので、運転手教育の中に盛り込むことは難しいかもしれませんが、車内転倒防止ポスターなどで高齢者の方が安全に利用できるよう啓発してまいりたいと思います。

② バスの時刻などのご案内は市都市計画室及びコミュニティバスを運行している地域の市民センターで行っております。「マイ時刻表」の作成につきましては、新型コロナウイルスの状況を鑑みながら地域の高齢者サロン等で公共交通の利用案内等の一環で希望者に対して作成していきたいと考えております。

③ 市職員のエコ通勤につきましては、年1回程度全職員に呼びかけ実施しており、その際には公共交通の時刻を案内するなどして利用を呼びかけております。今後は定期的なエコ通勤等を広く呼びかけていきたいと思っております。

④ ツアーの再開につきましては、各コミュニティバスの運営協議会のご判断になりますが、新型コロナウイルスの収束後には利用促進の一環として多くの方に利用していただけるよう呼びかけてまいりたいと思います。

現在、民間の路線バスの輸送人員が減少しているのは、沿線人口の減少や高齢化もありますが、運行路線、運行形態が利用者のニーズに合っていないのも一因と思われます。コミュニティバスでは、比較的容易に路線や便数、車両の大小を変更できると思われるので、その特性を生かして、利用者のニーズに合った運行を目指していくことが大事です。それぞれのバス同士の乗り換えを便利にして市内のどこへでも気軽に行けるようになることが理想です。

【事務局回答】

ご指摘のとおり、自家用車の普及や高齢者の免許保有率の上昇など様々な要因により公共交通の利用者は減少しており、新型コロナウイルスの影響でさらに厳しい状況となっています。

そのような中、コミュニティバスでは、各運行協議会が利用者のニーズに合わせた変更を行っています。また、変更内容はコミュニティバスの運営協議会や交通事業者等が参画する連携協議会内で共有し、市内の地域公共交通ネットワークとして、一体となって市民の皆様の移動ニーズに応えてまいりたいと考えております。

詳しくご報告いただきありがとうございます。

コロナウイルスの影響で実施が難しいことも多いと思いますがご提案いただいたことを方法を工夫して実施いただければと思います。

中間報告していただいた桔梗が丘駅の待合環境の改善について、電車の到着時刻との連絡がうまくいっていない時間帯もあり寒い中長い間待たなければならないこともある。できるだけ早く待合環境の改善を講じていただきますようお願いいたします。また、高齢者ドライバーによる交通事故防止のためにも、免許返納者への優遇措置の実施をお願いしたいと思っております。

以上、原案に賛成の立場からお願いさせていただきます。

【事務局回答】

いただいたご意見を踏まえ、引き続き事業推進部会で議論しバスの利用環境の改善や免許返納者に対する取り組みを実施してまいります。

コロナ禍により、各地域コミバスの利用が減少し、運賃収入が大きく落ち込んでいることから、適切な運営支援をお願いします。
コロナ禍で対面での啓発活動は難しい状況ですが、HP、SNS等スマホを活用した啓発や利用しやすい仕組みづくりをお願いします。

【事務局回答】

コロナ禍において外出自粛等により利用者が減少する中、地域住民の移動手段確保のため地域コミュニティバスの運行を継続されることから、各運営協議会に対し、その運営を支援するため、本年度は地方創生臨時交付金を活用して、通常の補助金に上乗せして交付しました。

今後も、関係機関と連携し、コミュニティバスの維持存続のため、必要な支援を検討するとともに、安心して公共交通を利用していただくための周知や対策を行ってまいります。

また、コロナ禍において幅広い世代に向け啓発ができるようイベント以外の利用促進事業の充実を図ります。